

一般質問

◆空家等対策事業について

質問 空家の現状と実態について伺う。

答弁 本市の空き家件数は年々増加しており、今年11月末現在で1783件であり、うち損傷がある空き家が347件で、中には適正管理がなされずに周囲に悪影響を及ぼすものもある。

◆倒壊家屋等除却推進事業補助金の検証について

質問 事業補助金の効果と事業促進の課題について伺う。

答弁 空き家等対策を補完し、地域住民のより安全・安心な生活環境を確保する効果があった。課題として、町内会等の実施に当たっては、所有者の同意が必須であることから、所有者が不明、不存在の場合は実施が困難になる。

質問 町内会等が行う倒壊家屋等除却推進事業等に対する市の事業促進支援と関与の在り方について伺う。

答弁 町内会等が実施する場合は補助金額の上限を設けないものとしており、支援内容を充実

させている。町内会等と所有者の間における利害関係に関しても相談されることが想定されるが、市として関与できる部分とできない部分を明確にしながら、無料法律相談を紹介するなど、事業の円滑化に努めている。

◆緑風荘の機能再編と施設改修について

質問 利用者の安心安全の確保に向けた取組について伺う。

答弁 洋式トイレへの改修に伴うバリアフリー化、浴室設備、温泉供給設備に係る更新、冷暖房の設置等により、利用者が安全で快適に過ごせるよう衛生的な環境を整備する。



さとう こうへい 議員
佐藤 功平

◆緑風荘について

質問 実施設計業務完了前の12月補正予算に概算工費を債務負担行為として設定する意図を伺う。

答弁 例年、冬季の利用者が増加する傾向にあることから、令和6年の降雪期前の営業再開を目指している。降雪前の再開に向けた工期を確保するには、今年度内に契約手続きと、令和6年度の支出予算の上限額を決定しておく必要があることから、実施設計を基に現段階で見込める工事費を上限額として債務負担行為を設定する補正予算案を提出させていただいた。

質問 アスベスト調査結果におけるアスベストの範囲と今後の処理方法について伺う。

答弁 アスベストを含む建材の使用は、外壁をはじめ、屋根や内壁、床や天井など各部位の下地や仕上塗材に確認されており、施設全体に点在している。今後の改修工事に当たっては、法令等に基づき、防塵マスクの着用をはじめ、作業員の安

全管理を徹底するとともに隔離養生シートの設置など、飛散防止対策を講じながら、使用状況に応じた適切な処理、破棄を行っていく。

質問 緑風荘は4月から休業期間に入るが、一部を建て替えて、浴槽を先に着工することで継続したままで切り替えることも可能だと考えるが、見解を伺う。

答弁 大規模な改修になるため、営業を継続しながら実施することは難しいと判断した。今後同じような公共施設のリニューアルもしくは新築の際にはさまざまな可能性をしっかりと勘案しながら進めるべきと考える。



くつざわ まさお 議員
沓澤 正雄